

令和元年度

ニホンザル管理事業実績報告書(市町村実施分)

白石市	1 ページ
角田市	2 ページ
蔵王町	3 ページ
七ヶ宿町	4 ページ
川崎町	5 ページ
丸森町	6 ページ
仙台市	7 ページ
山元町	8 ページ
加美町	9 ページ

令和2年7月

宮城県環境生活部自然保護課



令和元年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

白石市

R1計画	R1実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>2.61 ha 2.90 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>2,947 千円 3,275 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、豆類、果樹等</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積</p> <p>2.35 ha</p> <p>※農山漁村なわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること</p> <p>(2) 金額</p> <p>2,970 千円</p> <p>※農山漁村なわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること</p> <p>(3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類</p> <p>(4) その他</p>	<p>対策の成果で被害が減少したと思われ、出沒範囲が拡大しており、引き続き追い上げや捕獲、防除対策を強化していく。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施</p> <p>(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助</p> <p>(3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 実施隊による銃器での追い上げ、捕獲を実施した。追い払い用火を配布した。</p> <p>(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を行った。</p> <p>(3) 研修会を市内3地区で開催した。</p>	<p>R1年度被害対策費合 4648 千円</p> <p>花火に慣れた個体や群れもあり、効果が一時的である。</p> <p>38件1,708,000円を補助し、被害を軽減できた。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 30 頭</p> <p>発信機装着の増設数 1 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 1 頭</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p>	<p>30頭捕獲し被害を軽減できた。</p> <p>「猿鼻の群れ」1頭の発信機を更新し、「新町群の集団」1頭に装着した。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 水稻の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進する。</p> <p>(2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 研修会を開催し、水田周辺の除草作業を推進するよう、啓発を図った。</p> <p>(2) 研修会を開催し、山林側の除草作業を推進するよう、啓発を図った。</p>	<p>費用対効果の面で積極的でなかったり、耕作放棄地も増加しており、地域全体の環境管理が進まない。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	

令和元年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

角田市

R1計画		R1実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		
(1) 面積（下段前年度）	0.00 ha 0.00 ha	(1) 面積	0.00 ha	ハナレザルによる農作物被害の発生はあったが、軽微なものであった。実施隊員による追い払い、定期パトロール等、また、農業者による追い払いにより被害を最小限にとどめることができた。
(2) 金額（下段前年度）	0 千円 0 千円	(2) 金額	0 千円	
(3) 作物 未成熟トウモロコシ、		(3) 作物	※農山漁村なりのわい課に報告している被害防止計画の教値と整合性をとること	
(4) その他		(4) その他	※農山漁村なりのわい課に報告している被害防止計画の教値と整合性をとること 未成熟トウモロコシ、ナス、カボチャ	
2 被害防除対策		2 被害防除対策		RI年度被害対策費合計 786 千円
(1) 食べない果実等放置の防止を周知		(1) 機会を捉えエサとなるものを放置しないよう呼びかけ		住民に対し、食物残さや収穫物をニホンザルが発見しやすい場所に置かないなど、被害を呼び寄せない対策を推奨するとともに、実施隊員2名による定期パトロールや追い払い等により、ごく軽微な被害にとどめた。
(2) 定期的にパトロールの実施		(2) 7月初旬から翌年3月初旬まで、実施隊員による定期的パトロールを実施した。		
(3) 銃器による追い払い、捕獲の実施		(3) 定期的パトロール時や出没時に追い払い、捕獲を実施した。捕獲はなかった。		
(4) 被害内容に応じた諸対策の提案		(4) 被害相談等の際に、自宅の戸締りや同作業場に収穫物を置かないことを指導、また電気柵設置等の被害対策を紹介した。		
3 個体数管理		3 個体数管理		
個体数調整による目標捕獲数	頭	個体数調整による捕獲数	頭	捕獲実績はなかったが、昨年に引き続き捕獲に努めたが捕獲はなかった。しかし、結果として巡回による被害抑止が図られた。
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	15 頭	有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭	
発信機装着の増設数	頭	発信機装着の増設数	頭	
発信機装着の更新基数	頭	発信機装着の更新基数	頭	
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
(1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大		(1) 実施隊員により、被害防止パトロールを実施した。		実施隊員による定期パトロールは、地域の出没情報の収集や被害抑止に効果的であり、生息環境の拡大防止に有効と推量される。
(2)		(2)		
5 その他		5 その他		
(1) 住民の被害防止意識の啓発		(1) 被害相談時に防止のための自己防止対策等を提案した。		依然として住民の被害防止意識の向上が課題であり、引き続き被害防止のための備え等、意識向上に努めていくことが引き続き重要な視点と見込まれる。

令和元年度二ホンザンガル管理事業の実績と評価（市町村分）

蔵王町

R1計画		R1実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.01 ha 0.01 ha (2) 金額(下段前年度) 37 千円 25 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.01 ha 0.01 ha (2) 金額 22 千円 ※農山漁村なわいらいに報告している被害防止計画の敷畑と整合性をとること ※農山漁村なわいらいに報告している被害防止計画の敷畑と敷畑を整合性をとること (3) 作物 林檎、スイートコーン、白菜、長芋 (4) その他	山の実は悪かったものの、防除対策を強化することにより、里山への出役が少なくなり、農作物への被害が前年度より減少した。 結果、被害面積は目標値を達成し、被害金額も目標値の約60%と大きく下回ることができ、目標を達成できた。	R1年度被害対策費合計 13,416 千円 ・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 9,566千円 ・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 2,983千円 ・蔵王町狩猟免許取得促進事業補助金 400千円 近年、サル等の目撃情報が徐々に増加しており、現在までサルの目撃報告がなかった地域でも、ハナレザルの目撃報告が寄せられているため、今後も強い活動や防除対策等を継続して実施し、今後も群れが生息していない環境を維持していきたい。	
2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。 (3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。	2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲を実施した。 捕獲実績 3頭 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかつた。 (3) 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。	今後GPS発信機を用いた生息調査を継続的に実施し、群れの個体数や遊動域、利用地域の変化を追うだけでなく、群れのより詳細な利用場所の把握を試み、今後の対策や方針を検討するための基礎データを収集していく。	今後も引き続き南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。	
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 1 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) 生息調査の実施。 (2)	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 3 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1) 従来のテレメトリー法を用いた位置特定調査に加え、より精度が高いGPS発信機を用いた生息調査を実施した。 (2)	山の実は悪かったものの、防除対策を強化することにより、里山への出役は少なくなかった。また、耕作地又は宅地と生息地である森林等との間を除草することにより、人気の少ない山林付近の農地又は宅地でも出役を大幅に減少させる効果が見られた。	今後も引き続き南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。	
4 生息環境管理 (1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。 (2)	4 生息環境管理 (1) 目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出役し難い環境づくりに努めた。 (2)	今後も引き続き南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。	今後も引き続き南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。	
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。			

令和元年度二ホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

七ヶ宿町

R1計画		R1実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.31 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 275 千円 344 千円</p> <p>(3) 水稲、野菜の被害の軽減</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 1.49 ha</p> <p>※農山漁村なわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること</p> <p>(2) 金額 1,369 千円</p> <p>※農山漁村なわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること</p> <p>(3) 作物 水稲、野菜、豆類</p> <p>(4) その他</p>	<p>昨年年度と比べ被害面積及び被害額が増加し、野菜・果樹を中心に被害の増加が見られた。要因としては、電気柵とワイヤーメッシュの複合柵の整備、電気柵等設置に係る費用の補助が考えられ、今後も継続して行う。</p>		
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵等設置の推奨</p> <p>(2) 追い払いの実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵等の設置の推奨を行った。</p> <p>(2) 追い払い活動を重点的に行った。</p> <p>(3)</p>	<p>R1年度被害対策費合計 64,195 千円</p> <p>電気柵等の設置により被害を減少するに至ったが、未設置の田畑を中心に被害があった。電気柵等設置の推奨を今後も継続して行う。</p>		
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 200 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 2 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施</p> <p>(2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 97 頭</p> <p>発信機装着の増設数 3 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 3 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施</p> <p>(2)</p>	<p>前年度に引き続き、発信器の装着を行った。また、計画頭数には達さなかったものの昨年と比較して倍の頭数捕獲できた。</p>		
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 取り残し農作物の除去の指導</p> <p>(2) 耕作放棄地の軽減</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 指導は行ったが、未収穫野菜等の放置が見受けられた。</p> <p>(2) 広報は行ったが、大幅な軽減には至らなかった。</p>	<p>指導方法の改善及び周知の徹底、追い払い隊による呼びかけ等を積極的に行う必要がある。</p>		
<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 効率的な追い払い活動及び生息調査の実施、捕獲活動を実施した。</p>	<p>今後も継続して、効率的な追い払い活動及び生息調査の実施を行う。</p>		

令和元年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

川崎町

R1計画		R1実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		人里に下りてきて、農地を荒らしている光景が多く確認された。 被害報告をしない農家等が増えている。
(1) 面積(下段前年度)	0.15 ha	(1) 面積	0.34 ha	
(2) 金額(下段前年度)	0.22 ha	※農山漁村なりわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること	161 千円	
(3) 作物	124 千円	(2) 金額		
(4) その他	178 千円	※農山漁村なりわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること		
		(3) 作物		
		果樹、飼料用作物、野菜類		
		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		R1年度被害対策費合計 20,610 千円
・実施隊による捕獲活動の実施		畑の周辺の山に住み着いている群れがあり、捕獲活動のみでは被害の減少には至らなかった。今後農家にも防除方法を指導していき、地域での防除を図りたいと思う。		①H31農作物有害鳥獣駆除対策業務金 2,803千円
・電気柵の普及、補助				②サルパトロール 1,360千円
・広報等での有害鳥獣の対策紹介				③電気柵補助金 16,447千円
・実施隊による週一回の町内パトロール				(イノシシ、ツキノアグマ、ニホンザル含む)
3 個体数管理		3 個体数管理		捕獲頭数は昨年と比較して、増加している。
個体数調整による目標捕獲数	頭	個体数調整による捕獲数	頭	
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	50 頭	有害鳥獣捕獲による捕獲数	37 頭	
発信機装着の増設数	2 頭	発信機装着の増設数	頭	
発信機装着の更新基数	頭	発信機装着の更新基数	2 頭	
		生息域の調査を行った。		
4 生息環境管理		4 生息環境管理		看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施しなかった。
看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。		看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。		
5 その他		5 その他		

令和元年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

丸森町

R1計画		R1実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.10 ha 0.04 ha (2) 金額(下段前年度) 100 千円 51 千円 (3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.08 ha ※農山漁村なりのわい罫に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること (2) 金額 179 千円 ※農山漁村なりのわい罫に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること (3) 作物 水稲、豆類、野菜、いも類 (4) その他	2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用火火の無料配布(希望者) (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 (3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施	R1年度被害対策費合計 4,826 千円 ・電気柵設置に対する補助 67千円 ・追払い用火火、鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 3,340千円 ・追払いパトロール員による花火での追払いの実施 1,419千円	・鳥獣被害対策実施隊が銃器による追払い及び捕獲を2人体制で実施(年間延べ184日)したほか、サル追払いパトロール員による花火を使った追払い(週4日間)を実施し、一定の効果を得ている。 ※昨年度は台風19号の影響により実施隊員も被災したため10/12~11/20の間、出動を一時休止していた ・役場に寄せられた住民からの通報内容を、実施隊員及びパトロール員にいち早く連絡したことで、追払い活動や捕獲につながるなど、一定の効果をj得ている。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 20 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) (2)	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 19 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) (2)	3 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助(申請なし) ・追払い用火火の無料配布(希望者) (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 (3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施	R1年度被害対策費合計 4,826 千円 ・電気柵設置に対する補助 67千円 ・追払い用火火、鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 3,340千円 ・追払いパトロール員による花火での追払いの実施 1,419千円	・広大な範囲を巡回するため、発信機の装着は場所を特定するのに有効である。サル群れを中心に追払いを実施し、実施隊員、パトロール員らの連携が効果的に行われている。
4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。 (2)	4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。 (2)	4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。 (2)	・8月1日に町内全戸に耕作放棄地の除草や山林の適正な管理をお願いするチラシを配付した。	
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付により、農作物の被害防止の啓発を図る。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付により、農作物の被害防止の啓発を図る。		・南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会に参加し、県境を越えた被害対策などについて連携を図った。



令和元年度二ホンザンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

仙台市

R1計画	R1実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 9a未満 (2) 金額 120千円未満 (3) 作物 水稲、長ねぎ、大根、白菜、りんご等 (4) その他(人身被害・生活被害) 生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 3,17a (2) 金額 30千円 (3) 作物 大根、とうもろこし、かぼちや、きゅうり等 (4) その他(人身被害・生活被害) チラシ等を活用し、サルのエサとなる誘引物(果樹や農作物の残さ等)の除去や適切な管理を所有者に呼びかけ、注意喚起を実施。</p>	<p>被害面積及び金額について、目標を達成することができた。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起 ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供 ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市HPへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発 ・出没が多い地域の地区まつり等で啓発</p> <p>(2) 出没情報を受けた際の対応 ・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防止対策の助言・指導 ・必要に応じて、花火による追い払いを実施 ・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起 ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供 ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報 ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について啓発 ・宮城総合支所管内、秋保地区で開催された地区祭りにおいて、出展啓発。 (2) 出没情報を受けた際の対応 ・必要に応じて、花火による追い払いや、出没地域の周辺住民への被害防止対策の助言・指導を実施 ・宮城総合支所管内、秋保地区において、箱わなによる捕獲のほか、大規模追い上げ・捕獲及び小規模追い上げ・捕獲を実施。</p>	<p>RI年度被害対策費合計 6,996千円。</p> <p>計画どおり日常的な啓発や、追い払い・捕獲を実施したことに加え、新たにサルの群れの動向を地域の方向けに公開する「サル群れ情報マップ」を提供。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>目標捕獲数 130頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 15頭 (GPS発信機1機を含む)</p> <p>(1) 群れの位置情報の把握 ・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握</p> <p>(2) 捕獲対策(人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応) ・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施 ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(秋保地区:2基、宮城地区:2基) ・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施(捕獲に重点を置いて実施)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 80頭 発信機装着の増設・更新数 10頭</p> <p>(1) 群れの生息状況管理 ・市内に生息する群れ16群のうち、12群に電波発信機を装着。 (2) 捕獲対策(人里に馴れ、奥山に戻らない群れへの対応) ・箱わなによる捕獲 30頭 ・大型捕獲施設による捕獲 25頭 ・銃器による捕獲 32頭</p>	<p>個体数調整による捕獲数は目標を下回ったものの、秋保地区と宮城地区で合計4基の大型捕獲施設を稼働したことにより、大型捕獲施設による捕獲数は全体の3分の1程度を占めている。また、電波発信機の装着については、目標以上の装着となった。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>・群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施 ・サルとの適切な接し方や被害防止対策につき、市HPや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>・群れの位置情報の把握を随時行うとともに、市鳥獣被害対策実施隊が主体となり、追い上げや捕獲を実施。 ・市ホームページやチラシを活用しサルとの適切な接し方や被害防止対策について、広報啓発。</p>	<p>計画どおり広報啓発及び追い上げ・捕獲等を実施。</p>
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	



令和元年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

R1計画	R1実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>3.77 ha 1.57 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>507千円 368千円</p> <p>(3) 作物 水稲、果樹、いも類、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 8.70 ha</p> <p>(2) 金額 2,434千円</p> <p>(3) 作物 水稲・野菜・果樹・イモ類・大豆・果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>被害面積及び被害額が増加した。これまで確認できていた群情報と変わり頭数の増加や生息域も若干変わってきていると感じる。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止</p> <p>(2) 被害防除機材への導入助成</p> <p>(3) 音火花による追払い</p> <p>(4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇</p> <p>(5) サル用囲いワナによる捕獲</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止</p> <p>(2) ワイヤーマッシュ柵による農地への侵入防止</p> <p>(3) 音火花による追払い</p> <p>(4) サル用囲いワナ、銃器による捕獲</p>	<p>R1年度被害対策費合計 1,844千円</p> <p>これまでサル被害が無かった地区に被害が発生している。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 箱わなによる捕獲頭数の向上</p> <p>(2) 実施隊によるパトロールの実施</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 59頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 実施隊によるパトロール</p> <p>(2)</p>	<p>サル用囲いワナにて20頭の捕獲で効果が上げられている。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進</p> <p>(2) 耕作放棄地の刈払いの推進</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進</p> <p>(2)</p>	<p>宮城県の調査事業でサルの生息調査を実施。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 町ホームページでの捕獲事業の周知</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 広報誌等での鳥獣被害防止協議会活動周知</p>	

